

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)森テル様マンション新築工事	階数	地上10F
建設地	大和市桜森二丁目144番10外	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	100 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年11月 予定	評価の実施日	2016年2月9日
敷地面積	483 m ²	作成者	東建コーポレーション株式会社
建築面積	247 m ²	確認日	2016年2月9日
延床面積	2,317 m ²	確認者	東建コーポレーション株式会社

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★ B: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算
①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 2.8**

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 2.8**

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合 道路から各住戸全室に至るまで段差の無いバリアフリー設計とし、小さなお子様から高齢者の方まで、誰もが安心・安全・快適に暮らせる住まいを目指した仕様といたしました。		その他 0
Q1 室内環境 F☆☆☆☆の建材を全面的に使用しております。	Q2 サービス性能 住戸の採光・換気・室温等への配慮を行い、機能的かつ安全な室内環境を創出しています。	Q3 室外環境(敷地内) 各住戸にバルコニーを設けることにより中間領域を形成しております。
LR1 エネルギー 熱損失を抑えるサッシや断熱材を使用し、建物の熱負荷抑制に努めております。	LR2 資源・マテリアル 有害物質を含まない材料を使用しています。	LR3 敷地外環境 近隣への影響を少なくするために浸透トレンチを設置し、可能な限り雨水の宅内処理に努めております。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される